

よく遊び じっくり学び 正しく選ぶ 子



緑小だより 7月号

令和3年6月30日（水）

茅ヶ崎市立緑が浜小学校
校長 柴田 貴行

○活動再開に向けて

茅ヶ崎市が「まん延防止等重点措置」の対象地域からはずれたことに伴い、学校の教育活動や学校を使つての活動が徐々に再開・拡大されています。放課後に体育館で開催される「プラザグリーン」は、6月21日に今年度の初日を迎え、プラザ初体験の1年生で盛況でした。

また、延期となっていた市役所安全対策課による、1年生向けの交通安全教室も再予約が始まる等、学校も子どもたちにとって必要な学びの再開に向けて動いています。

○緑っ子アート（旧緑小祭り）を開催しました。

従来、緑小祭りとして行っていた縦割り交流会（異学年交流）を、今年度は形を変えて「緑っ子アート」として実施しました。思い起こせば昨年度は、学級単位での活動のみが可能で、学年が1か所に集まる集会も十分には行えない状況から学校が再開されたので、異学年交流はできませんでした。人と距離をとることの必要性もあり、児童同士も学年が違ふとお互いが知らない人であるかのようなふるまいがみられたこともありました。学校としても、異学年交流の必要性を認識したものでした。

今年度は、現時点で異学年交流は、感染防止に配慮して実施してよいことになっています。もしも、この時期に宣言や新しいガイドラインで異学年交流が禁止となったら、延期する覚悟で計画し、実施にこぎつけました。感染防止に配慮する必要がありますので、今回は3学年ずつ縦割りグループでの交流となっています。換気はもちろん、エアコンの送風、扇風機も使用し、グループ間の距離をあけ、道具は共用しない等の配慮をしての実施です。児童代表による「緑っ子委員会」が企画の検討を行い、顔合わせから始まり、昼休みの縦割り外遊びを経て、緑っ子アートの当日を迎えました。

今回は「緑っ子委員会」の企画で、縦割りグループごとに模造紙に絵を製作しました。「みどりんの夏休み」と題して、緑が浜小学校のキャラクターである「みどりん」を登場させて、「みどりん」が出かけたり活動したりする様子を、上級生がリードし、グループごとにテーマを決めて思い思いに描いたり、色紙を貼ったりして作品に仕上げました。最後に、他グループの作品を鑑賞しあい、振り返りをして「緑っ子アート」は終了しました。協力し合った学年の異なる仲間との関係が今後も続くことを期待します。

○防災について

6校連携引き取り訓練へのご参加ありがとうございました。

学校では別日に、市役所防災対策課や地域自治会の防災担当の方々と「災害対策地区防災拠点打合せ」を行い、学校が避難所になった場合の打ち合わせ（感染症が疑われる方と一般の方との動線を分けた避難所の運営、防災用具の使い方等について）を実施いたしました。万一の災害発生時には、学校の教職員は児童の安全確保と授業再開優先で活動します。避難所運営は市の配備員さんや地域の代表の方々で行う「避難所運営本部」が中心となって運営されていきます。

また、打合せ会の折に、災害時に本校も含めた市内それぞれの施設が避難所として開設されているか、混雑状況はどうかをPCやスマートフォンで知ることのできる配信サービスの紹介がありましたので裏面でお知らせします。ご参考になさってください。